



## 年頭のごあいさつ

二本松市長 新野 洋

新年おめでとうございます。皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶びを申し上げます。

さて、お陰様をもちまして市長に就任させていただきましたから無事に一年が過ぎました。この間、市民の皆様から寄せいただいたご支援とご協力に心から感謝申し上げます。昨年を振り返りますと、二月には近年にない大雪が降り対応に追われましたが、これを教訓として各部署で問題点を検証し、他自治体に先駆け、歩道等除雪用の小型除雪機五十五台を市内の公共施設に配備いたしました。さらに、四輪駆動の災害対応車両を本庁舎と各支所に配備するとともに、災害時の緊急情報メール配信サービスを開始し、災害への対策を強化したところであります。

人口減少対策といたしましては、子育て支援施策として保育料の第二子からの無料化、定住促進奨励金につきましては月額二万円を三年間支給、新婚世帯家賃助成金につきましては月額一万円を三年間支給、特定不妊治療費助成事業につきましては予算を二倍に増額いたしました。さらに、保護者の教育費を軽減するため図書館に参考書を充実配備し、結婚推進事業としては民間の婚活イベントに対して補助制度を強化したところであります。さらに、市の子育て支援の広報チラシ「mamaになるならにほんまつ。」を作成し、広く周知を図るなど、幅広く展開しているところであります。

放射線対策といたしましては、ホットスポットファイナダーを三台購入し、通学路の放射線測定を開始しております。また、非破壊式放射能測定装置を五台購入し自家消費用農産物の測定を行い、さらに、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査につきましては四歳以上二十二歳以下の方を優先して二巡目の測定を行いました。お陰様で、

外部被ばく、内部被ばくともに問題のある事案はございませんでした。そして、一般住宅等の除染完了世帯数は、平成二十六年十一月末で一万三千四百四十六世帯、進捗率は七〇・四五%となったところであります。また、浪江町の皆様の復興公営住宅は、四カ所に三百四十六戸の受け入れを決定し、事業が進められております。

観光振興施策といたしましては、大山忠作先生のご息女であります大山采子さんを観光大使に任命させていただきました。強力な応援をいただいているところであります。また、積極的な観光PR活動の展開等により、第六十回の安達太良山山開きでは前回の二倍にあたる一万五千人の登山客おいでいただき、展示内容の大幅なリニューアルを行った第六十回二本松の菊人形展には、前回を一万二千六百三人上回る皆様にご来場いただいたところであります。さらに、観光名刺の作成配布、総理官邸への菊むすめの初めての表敬訪問、テレビ番組での全国放映、観光PRソング「ざくざくの歌」の制作発表、「現代版少年隊」結成のための隊員の募集開始など、さまざまな活動を積極的に展開してきたところであります。

安達地方二市一村の広域連携といたしましては、観光情報誌「まつぶる」の共同制作を行い、昨年十二月には東京都の浅草で「安達地方観光物産展」を開催し、大きな反響をいただきました。

今年には合併十周年、そしてデスティネーションキャンペーン本番を迎えます。二本松市が抱える重要課題にしっかりと対応しつつ、この機会に多くの観光客を呼び込み、地域経済の活性化と風評の払しょくに全力で取り組んでまいります。

結びに市民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、年頭のごあいさつといたします。





## 新年のごあいさつ

二本松市議会議長

中田 涼介

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃より市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本県に未曾有の被害をもたらした平成二十三年三月十一日の東日本大震災、そしてこれに伴う東京電力第一原子力発電所の事故から三年九カ月余りが経過いたしました。しかし、この間市民の皆様ははじめ、関係者の必死の努力にもかかわらず、広く市民の住環境・生活環境からの放射線の除去につきましては、鋭意実施してはおりますが、いまだ道半ばの感が拭えない状況でもあります。市民生活の安定を最重要施策とし、市当局・議会ともに今後とも不断の努力と行動が要求されておりますこと、いままさらながらに痛感させられるところであります。

加えまして、昨年は過去に例を見ない規模での二月の豪雪により、市民生活に多大な被害と影響が発生しましたことも、記憶に新しいところでもあります。この災害を教訓とし、私ども議会といたしましても除雪方策等も含め、自然災害発生時への対応につきましても、当局との間で活発に議論を重ねてまいりました。市民生活の安心安全確保の重要性と、これを維持することの困難さを再認識させられる現状でもあります。

この様な状況の中、昨年六月に行われました市議会議員選挙によりまして、七月一日より新たな議会が構成されました。不肖私が合併後四代目となる議長に選任され、その

任の重さと責任を痛感するとともに、身の引き締まる思いで職務を全うする覚悟であります。

今後とも、広く市民皆様のご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

さらに社会全体に目を転じてみますと、長年続いたデフレや不況からの脱却、消費税率引き上げを伴う社会保障の一体改革など、わが国は大きな転換期を迎えております。こうした時代の変化に的確に対応するためには、市民本位のまちづくりと、自主・自立した責任ある真の分権型社会の実現が不可欠であります。

政府の提唱する地域創生を見極めながらも、地に足の着いた現実的な二本松創生を模索する必要性を痛感させられる昨今でもあります。

今年是我が二本松市にとりまして、平成の大合併により旧一市三町が一緒になり、新生二本松市が誕生しまして十年目を迎える、記念すべき節目の年でもあります。私ども二本松市議会といたしましても、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、本市の限らない発展を期すとともに、更なる十年後の明るい未来に確かな歩みを継続すべく、鋭意努力してまいる所存であります。市民の皆様のかかわらぬご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

新春を迎え、市民の皆様への限らないご多幸とご健勝、更には二本松市の限らない発展を心よりご祈念申し上げます。議会を代表しましての新年のごあいさつとさせていただきます。